

【事業名】 産業間情報流通システム活用による蓄電池の価値最大化実証

事業者名：REVortex株式会社

プライムプラネットエネルギー&ソリューションズ株式会社

実施期間：令和7年9月～令和8年2月

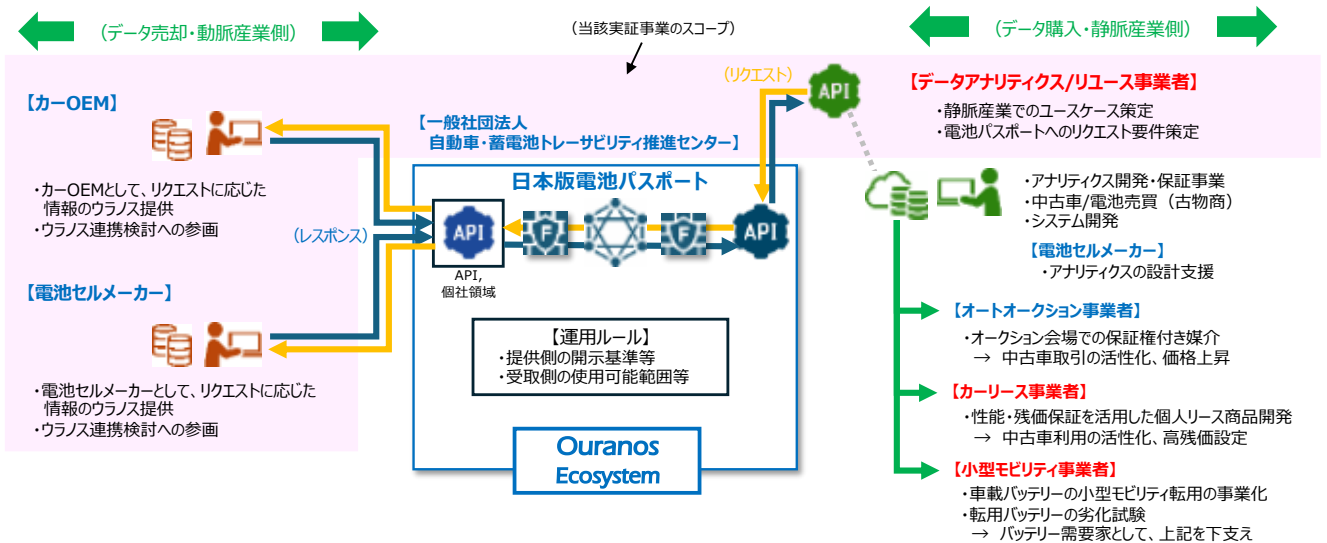
1. 事業の背景・目的

- 蓄電池のサーキュラーエコノミー実現には、動脈産業（カーOEMや電池セルメーカー）と静脈産業（リユース、リサイクル事業者）間で“モノ”の流通を活性化させる必要がある。
- そのために必要な“情報”が流通することで、静脈産業の事業者が積極的に蓄電池関連の事業に参入することが重要である。

2. 補助事業の概要

- 静脈産業の中で、最上流工程にある中古車市場、それに必要となる保証事業に関し、“日本版電池パスポート”のユースケースとして最低限のシステム実装し、その過程で社会全体での実装に向けた課題を明確にするもの。

※API：「Application Programming Interface」の略で、異なるソフトウェアやシステム間で機能やデータを共有するためのインターフェース



結果として、以下を実施・検証した。

- 静脈産業の事業者としての“日本版電池パスポート”との接続APIの開発、統合テスト
- 産業間情報連携を拡大させるためのボトルネック、課題検出
（情報自体の取り扱い上の課題、各社の事業戦略上の課題、システム上の課題等）